

## <白金標準、パラジウムの価格低下の波紋で買い場の到来・・・>



(出所：オアシス)

ガソリン車触媒需要が多いパラジウム価格が、中国は電気自動車への乗り換えが加速し、また割安な PGM 商品であるプラチナに触媒の代替が進むなど、パラジウムの需要が後退を示唆し、パラジウムの世界第 1 位の生産会社ノリリスク・ニッケルはパラジウムが 2023 年の 6.2 トンの供給不足から 2024 年には 9.3 トンの供給過剰に転じると予想している。特に今年に入ってから 45% の下落し、パラジウムは金融暴落が需要に打撃を与えた 2008 年以来最悪の損失を記録する勢いである。

そのため NY 市場で PGM のプラチナ価格も 950 ドルまで戻りを見せながら週末にはパラジウムの波紋を受けて 2022 年 9 月 29 日以来の 850 ドルを割り込む 843.1 ドルまで下値を追うなど、中東情勢前の安値である 856.8 ドルを下回っている。また白金標準先物は 10 月 6 日の安値 4065 円に迫る 4083 円まで下値を試している。しかしプラチナは 3 年ぶりに供給不足へ移行し、24 年も供給不足が予想されるなど、意図的に売り込まれた価格はそれなりの反発が予想され、急速な買い戻しが起こってもおかしくないと思える。

### <テクニカル>

白金標準先物の日足を MACD と RCI で見た場合は、MACD では **MACD** と **シグナル** が下げている。RCI は **短期** が下げきり、**長期** は下げるなどオシレーターは下向きを示唆している。ただ日足が 3 本の移動平均線と乖離しており、10 月 6 日と同様に自律反発の域に思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行ってください。売買の判断はお客様御自身で行ってください。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 2,360,000 円(2023 年 11 月 13 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 76,560 円(2023 年 11 月 13 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)  
証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター  
<https://www.nisshokyo.or.jp>